

## 玉川大学の3ポリシー

玉川大学は、教育基本法及び学校教育法の規定に基づき、更にキリストの教えに従い、玉川学園建学の理想にかんがみ、「全人教育」をもって教育精神とし、広い教養と深い専門の学術の理論及び応用を教授する。宗教、芸術教育を重んじ魂を醇化し、浄らかな情操を養成し、厳粛な道義心を涵養することをもって人格を陶冶し、併せて人類の幸福と世界の文化の進展に寄与するものとする。（学則第1条）

本学は、上記学則第1条に基づき、以下のとおり学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針を定めます。

### 1. 卒業認定・学位授与の方針(DP;ディプロマ・ポリシー)

本学の創立者小原國芳は、人間を「生まれながらにして、唯一無二の個性を持ちつつも、万人共通の世界をも有する存在である」と定義しました。玉川教育の使命は、1つにこの人間像を実現させることです。そして2つに、日本社会さらには世界へ貢献する気概を持った人材を養成することです。そのために、12の教育信条（全人教育、個性尊重、自学自律、能率高き教育、学的根拠に立てる教育、自然の尊重、師弟間の温情、労作教育、反対の合一、第二里行者と人生の開拓者、24時間の教育、国際教育）を掲げて教育活動を展開しています。

これらの活動をとおして、各学位プログラムの課程を修め、124単位以上を累積GPA2.00以上の成績で修得した者には卒業を認め、学士の学位を授与します。あわせて、以下の学士力を修得している人材を養成することを教育目標とします。

#### (1) 知識・理解

- ・ 多文化・異文化に関する知識の理解
- ・ 人類の文化・社会と自然に関する知識の理解

#### (2) 汎用的技能

- ・ コミュニケーション・スキル
- ・ 数量的スキル
- ・ 情報リテラシー
- ・ 論理的思考力
- ・ 問題解決力

#### (3) 態度・志向性

- ・ 自己管理力
- ・ チームワーク、リーダーシップ
- ・ 倫理観
- ・ 市民としての社会的責任
- ・ 生涯学習力

## 2. 教育課程編成・実施の方針(CP;カリキュラム・ポリシー)

玉川大学では、学生が卒業認定・学位授与の方針に掲げる学士力を身につけることを目指して、さまざまな学問分野にふれ、自らの専攻領域の学問的・社会的役割と関連づけ、学士課程教育において重要な役割を果たす教養教育と専門教育の連動を目指した「ユニバーシティ・スタンダード科目」を編成します。それぞれの学部においては、教養豊かな幅広い知識を持ち、基礎学力の堅固な基盤と高度な専門能力を持った有為な人材を育成するために「学科科目」を編成します。

また、教育課程（カリキュラム）については、整合性や体系性・系統性が容易に理解できるように、学問分野、科目間の連携や科目内容の難易度を表す記号・番号をつけ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。

授業の履修にあたっては、大学設置基準に定められた単位の基準\*1を踏まえ、1日8時間の授業および授業外学修\*2を標準とし、半期の履修上限単位を16単位とします。また、半期ごとに学修状況判定を設け、一定のGPAをクリアすることを求めます。

各授業科目については、各授業科目の到達目標と、その授業をとおしてどのような力（卒業認定・学位授与の方針で示した学士力）が身につくのかをカリキュラム・マップおよびシラバス（授業計画）に明示します。また、授業をとおして身につく力を学生が効果的に修得できるようアクティブ・ラーニングなどの教育方法を取り入れて授業を展開します。

成績評価は本学の成績評価基準に基づき、ルーブリック等を活用し、各授業科目の到達目標の達成状況により行います。

\*1 単位の基準 : 1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする。（大学設置基準第21条第2項）

\*2 1日8時間の学修 : 上記の基準では、1時間の授業に対し、2時間の授業外学修を15回行うことで1単位を計算しています。本学では50分授業で半期の履修登録が16単位となりますので、1日8時間の学修は次に示すとおりです。

16単位×150分=2400分⇒40時間÷5日=8時間（480分）

### 3. 入学者受け入れの方針(AP;アドミッション・ポリシー)

玉川大学は創立者小原國芳が、人間を「生まれながらにして唯一無二の個性を持ちつつも、万人共通の世界をも有する存在」とであると定義した人間像を実現させることを使命とし、日本社会および世界へ貢献する気概を持った人材を養成することを目指しています。そのためには知識と技術を高め、健康な身体を育み、そして倫理観を備えなければなりません。このような観点から、本学では高等学校までに培う「生きる力」\*3の修得を重視します。どのような状況にあっても、自ら課題を発見し、考え、判断し、行動できる力を有することは、変化の激しい社会を担う人材として必要不可欠です。本学ではそのような力を「学士力」として教育目標に据えています。

本学の教育理念、教育目標を理解するとともに、人材育成の方針に共感し、主体的に学修に取り組む姿勢を持った者の入学を望みます。入学者の受け入れについては、以下に掲げる点に留意して多様な選抜方法を実施します。

1. 高等学校で学習する各教科を単に履修したという事実にとどまらず、履修した教科内容を確実に修得していることを重視します。
2. 学校推薦型選抜・総合型選抜で本学への入学を希望する者は、高校での学習成績の状況だけでなく、各種資格・検定試験等で、高校生としての最低水準を示す等級、レベルや点数を併せて取得していることを評価の対象とします。
3. 志望学部・学科で学ぶ明瞭な目的意識（将来計画）や意欲があることを重視します。
4. クラブ活動やボランティア活動、科学オリンピックや各種大会・コンクールの成績、留学や海外活動の経験、生徒会活動の状況など高等学校内外における諸活動を重視し、多面的・総合的に評価します。

\*3 「生きる力」：基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力。

自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性。

たくましく生きるための健康や体力。